

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束や虐待防止等の基本姿勢は理解し十分な研修とその記録が残っていない。	職員間の身体拘束、虐待の考え方や取り組みが一出来る。	身体拘束の必要性を家族に説明し承諾のもと実施しているが、今後必要な時間を最小限にする為の努力と実施記録を明確にしていく。また身体拘束以外の方法にも目をむけ拘束廃止に向けての職員間での意識統一を図る。	12 か月
2	30	他科診療や検査時の付き添い送迎のサポートをサービスの一環として考え実施してきたが職員の負担の増加の為、今後は家族の理解を得て原則として家族付き添いに切り替える方向で働きかけたい。	医療受診、外出支援等の改善、家族協力による職員負担の軽減	開設当初からサービスの一環として行ってきたため家族同意に時間がかかると思うが家族会や個々の懇談等の時間を設け家族の理解、協力が得られるように働きかける。また家族とのより良い人間関係の確立に努力する。	12 か月
3	5	地域へのとり組として認知症の理解の為の働きかけ(講演会の実施)や地域からのより良い支援を得られるための一層の努力が必要である。	地域活動への積極的参加、協力	市町村や自治体に対し認知症理解を訴え働きかけ、認知症サポーターの養成への協力を行う。自治体への積極的参加を行い地域との連帯を密にすることで災害時の支援がスムーズに受けられるよう日ごろより働きかける。	12 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。